まちを想う、仲間とつなぐ
ゆめこらぼ通信
第60号
2019年5月1日発行
発行：西東京市市民協働推進センター　ゆめこらぼ　〒188-0012　東京都西東京市南町5-6-18　インクビル1F

参加者は10代から80代まで！ 私達にも身近なSDGsとは？

NPOパワーアップ講座
「もっと知ろうよSDGs」
3月30日（土）イングビル3階会議室

講師
認定NPO法人
シャプラニール＝
　　市民による海外協力の会
小松豊明氏

　講座では、まずSDGsの17のゴールについて一つずつ解説がありました。
　その後参加者が自身の活動に繋がるものや興味のある3つのゴールを選び自分ができる事を考えるというワークショップを行いました。
　各参加者が、選んだゴールに向けてできることを自分自身の背景を交えながら発表しあい、テーブルごとに「いいねシール」を一番多く獲得した意見を会場の皆で共有しました。
　年齢も立場やバックグラウンドもさまざまな37人の参加者は、活発な意見交換によって和やかながらも熱い場を創り出していました。

SDGs（エスディージーズ：Sustainable Development Goals）とは2030年に向けて世界が合意した持続可能な開発目標です。

　参加者からは「この講座を通してSDGsを身近に感じた」という声が多くありました。
　SDGsは国連提唱の地球規模で取り組むべき目標ですが、一人ひとりが「私たちにできること」を考え行動に移すことでゴールに近づきます。
　まだまだ広く認知されていないSDGs。
　ゆめこらぼではSDGsの視点に立ち事業を続けていきたいと思います。

[寄稿]お母さんの算数教室

「お母さんの算数教室」は「数学・算数を学ぶことは生きる力をつけること」をモットーにまず子どもに関わる大人に算数に興味を持ってもらおうと水道方式による講座を行っています。水道方式とは東京工業大学の教授だった遠山啓先生が昭和33年に提唱した算数・数学の指導理念です。水道方式で説明すると参加者は皆さん「算数って面白い！」「目からウロコ」「奥が深いのにびっくり！」などと興味を持ってくださいます。また「あまり怒らないで勉強を見てあげられるようになった」「子どももよく聞いてくれるようになった」という声も寄せられています。親子の良いコミュニケーションにも繋がっているようです。大人が水道方式の考え方を学んで面白いと思うようになれば、子ども達も算数はこわくない、楽しいと思うようになるはずだと思います。

この水道方式を基にさらに工夫発展させている研究グループがいくつかあります。私達も小さいけれどその一つです。これからも子どもたちが納得できるやり方を模索研究し、今も変わらない数学に対する苦手意識の風潮を少しでも変えられればと思います。そして子ども達の健やかな成長を願い「お母さんの算数教室」や「わくわく算数広場」を開催し地道に活動していきます。

会員・参加者募集中！出前も致します！
詳細はゆめこらぼHPをご覧ください。

（代表：野木たかね氏記）

[寄稿]あんしん終活相談センター

あんしん終活相談センターは、遺言作成や相続手続きや成年後見制度などをサポートする地域の街の法律家である行政書士を中心とした任意団体です。最近は、終活と言う言葉が、当たり前になりましたが、どこに、誰に相談すれば良いか分からないと言うことをよく聞きます。そのような不安や疑問を解決するための団体が、あんしん終活相談センターです。あんしん終活相談センターでは、セミナーや無料相談会やお祭りやフェスなどのイベントを通じて、終活に対するサポートを実施しています。

遺言作成や相続手続き以外にも任意後見契約、死後事務委任契約、尊厳死宣言書、見守り契約などの終活をトータルにサポートすることが可能です。地域貢献のために高額な預託金など必要なく、リーズナブルな報酬額でサポートをしています。最近では、空き家の問題も終活の一つとして出てきていますので、空き家にしない予防対策にも力を入れております。

これからは、「終活しどう会」と銘打って、終活のことなら何でもお気軽にあんしん終活相談センターにご相談下さい。

（代表：中野浩太郎氏記）

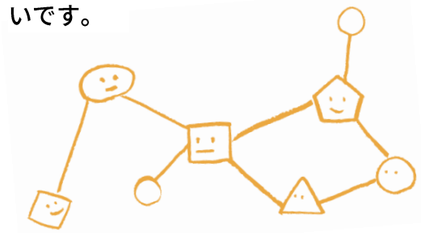
協働の事例集

地域課題の解決に、市民活動が大きな役割を担うようになってきました。

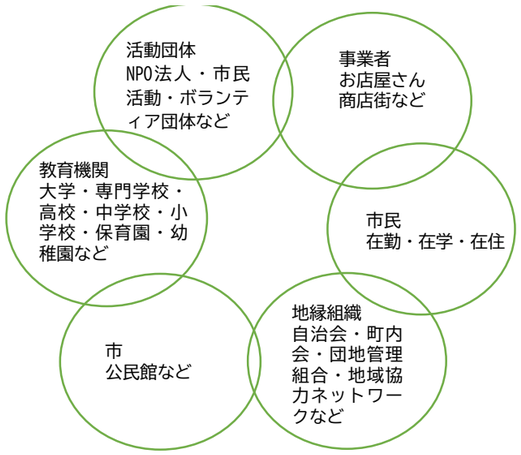
今号から６回にわたり、ゆめこらぼ登録団体の最近の協働の事例をご紹介します。

これから協働を考えてみようかと思っている方や既に協働に取り組んでいる方々にも「いろいろな協働があるんだ！」と思っていただけるような事例を紹介していきたいと考えています。

協働について理解を深め、新しい協働事業へ取り組んでいただくヒントとなれば幸いです。



協働のカタチ(例)



それぞれの役割(例)

[活動団体]
人の確保、事業運営
[市]
場所の確保、市内掲示板、広報

ケース：1
NPO法人ラマーミトゥルの会
「こども食堂への参加」

NPO法人ラマーミトゥルの会
スリランカの文化紹介や小規模小学校への支援、友好親善を活動の柱にして2012年に会を設立しました。毎年、料理教室やスリランカを知るつどい、そしてスリランカへの寄付金の送金などを行っています。年4回のニュースレターの発行、ホームページも随時更新しています。<ゆめこらぼ団体紹介冊子より>

代表の山崎シルヴァさんはさまざまな場所でスリランカ料理を提供しています。

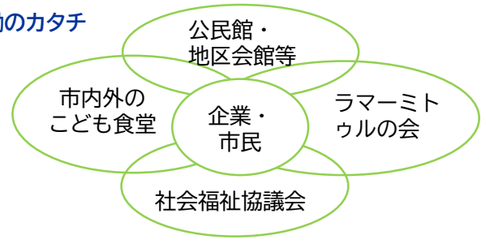
元々料理を得意とし、教師もしている山崎さん。ゆめこらぼのNPO市民フェスティバルに参加した際に西東京市でのこども食堂のことを知り、2017年より関わるようになりました。

スリランカの文化では、ダーナヤ（布施）をすることを当たり前としています。日本からの寄付などの恩返しとして、スリランカの子ども達だけでなく、日本の子ども達にも何かしたい、スリランカの文化を紹介したいという山崎さんの思いから、こども食堂を運営している各主催者の方々と一緒にスリランカ料理を提供することができました。

山崎さんは「しばくぼーの」、「コミュニティーレストラン木・々」、田無公民館「わいわいクッキング」、東久留米市や武蔵野市のこども食堂にも参加しています。

芝久保サロン「しゃくなげ」のこども食堂 しばくぼーの

協働のカタチ



それぞれの役割

[ラマーミトゥルの会][市内外のこども食堂]
こども食堂運営･協力者の募集･食事提供
[社会福祉協議会]
場所の提供･フードドライブ等
[公民館･地区会館等]
場所の提供･協力者の募集･講座等で養成
[企業･市民]
ボランティア･寄付

見えてきたこと･次へのステップ･課題

･できるだけ長く続けたい
･他国の人たちにもこども食堂で料理を提供してほしいが、なかなか広がっていかない(費用面等で課題あり)

◆◆お知らせ◆◆

ゆめサロン
「あなたに出来ること×こども食堂」

西東京市の地域で活動している「こども食堂」の主催者の方々に来ていただき、お話をお聞きします。それぞれの「こども食堂」の活動を知り、多様な地域活動への参画のきっかけとなります。
（こども食堂の実食も予定しています。）

日時：2019年6月1日（土）10時～13時半
場所：田無公民館　実習室（地下）
定員：20名

協働のまちづくりワークショップ
～こどもにやさしいまちづくり～

市民と市職員がともに学び合い、協働でどのようなことが実現できるのか話し合いをすすめます。
「西東京市子ども条例」に注目が集まっているなか、今回は「こどもにやさしいまちづくり」をテーマにしながら、協働の考え方や方法について、対話を通して理解を深めていきます。

日時：2019年7月4日（木）13時～16時
場所：田無庁舎5階　502・503会議室
定員：30名

地域連携促進事業
ゆめこらぼ「団体交流会」開催

日頃の活動の情報を交換しながら楽しい雰囲気で市民活動を語り合いましょう！

日時：2019年7月20日（土）
場所：イングビル3階　第3・4会議室
※開催時間など詳細はゆめこらぼまで

＜お知らせの申込み方法＞
電話、FAX、Eメールで下記の「ゆめこらぼ」までお申し込みください。

第11回NPO市民フェスティバル
実行委員募集

ゆめこらぼは、市民活動を幅広く知っていただくためのイベントとして、また市内のNPO法人や市民活動団体のPR、団体同士の交流の場としてNPO市民フェスティバルを開催しています。
今年度のNPO市民フェスティバルの開催に向け、企画運営に携わっていただく実行委員を募集します。より多くの意見を反映し、みなさんが気軽に参加できるイベントを目指していきます。実行委員の経験、年齢、性別は問いません。
※NPO市民フェスティバル開催まで、毎月1回開催予定。
定員：15名

新たな登録団体＜2月～3月＞

（説明文は登録時に各団体から頂いた「目的」の項を転載しています）

◆CS西東京

西東京市の市民力を高めるための学習活動等を行う

◆ライト・イット・アップ・ブルー西東京

障がい者支援の活動等を行うことにより、親子の健全な生活に寄与することを目的とする

◆西東京IT研究会

地域のITリテラシー推進に貢献する

＜2019年3月末現在で179団体になりました。＞

西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ

〒188-0012
西東京市南町5-6-18イングビル1階
Tel:042-497-6950　Fax:042-497-6951
E-mail:yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp
https://www.yumecollabo.jp/
Facebookも更新中！

開館時間　午前10時～午後７時
休館日　毎週日曜日

ゆめこらぼ
モバイルページ